



NPO 特定非営利活動法人

# 埼玉森林サポータークラブ

コミュニケーション・ニュース

【令和5年1月1日 発行（季刊） VOL. 9 2】

## 「新しい年を迎えて」クラブ役員

### 「年頭所感」

初心に戻ろうと自分に言い聞かせています！  
クラブに入会して15年程が経過しました。入会後の数年間は自分が山の手入れをして綺麗な山を取り戻すのだという使命感に燃えていた気がします。それがここ数年間コロナでのクラブの活動の低下、高年齢化に伴う体力の低下で、その使命感に限りが生じてきています。今年は日々身体を動かすことに努め体力・気力を向上させて入会した当時の自分を取り戻したいと考えています。ボランティアの心構えに「出来る人が、出来る時、出来る事をする」とあります。チェーンソーを持っての活動が厳しければ見張り役になるという考えで活動参加したいと思います。

副会長 沢田 正

### 「新年を迎えて」

新型コロナウイルス感染拡大の影響をうけて森林サポータークラブの活動は「まん延防止措置」により活動を休止しました。解除により活動再開するなど過去3年間は活動が途切れ途切れになり十分な「森林保全活動」は継続出来ない状態でした。クラブ員も経年による高齢化が進みましたが新型コロナウイルス感染拡大が終息後は「森林保全活動」に多くのクラブ員に参加して頂き微力ではありますが少しでも「森林の働き」を助ける活動を継続して行きたいと思います。まずは、新入クラブ員が楽しく安全に作業出来る環境や雰囲気づくりをベテランクラブ員が率先して行いながら活動継続のため「世代交代」を促進し活力あるサポータースタートの年にしたいと思います。

副会長 片野健一



継続は力なり  
生まれ変わったときがわの森

### 「直次郎ジジのつぶやき」

12年ぶり！ ウサギ年、お久しぶりです。コロナに明け暮れた いい加減にしろ！どうか、御天道様、地球に希望の光を投げつけてください！ ジジのたつてのお願いです。さて、本年は、会長方針の一つであるクラブ研修会の開催内容の充実を図りたいと思いました。

\*研修チームの方々を中心にスタートしておりますが、スタッフの充実、参加者が、より参加しやすい環境づくりをしたい(できるかなぁ 不安)。

開催通知の一部

- ①自粛期間中に入会された会員の指導が、不十分だった
- ②伐木作業未経験の方や技術習得、技術向上を目指す方等広く参加できる研修会の開催
- ③研修内容:

ア) 手作業による間伐作業 イ) 枝打ち作業 ウ) 事故防止の安全作業 エ) かかり木の処理作業 オ) 伐倒木の処理作業 カ) 下草刈り作業  
目指すは、手作業と機械作業の共存。皆様のお声を聞かせてくださいませんか。

副会長 星 直次郎

### 「新年を迎えて」

新年明けましておめでとうございます。今年一年の会員・ご家族皆様のご健康をご祈念申し上げます。新型コロナが収まる気配がありません。第8波に入ったとさえ言われています。コロナ禍に加えて、高齢化の波がじわじわ当クラブにも押し寄せています。この2つのダブルパンチが活動を直撃しています。手作業よりも、機械のほうが能率はアップする。ただエンジン付きの機械がゆえに危険も伴う。高齢による機械の取扱いは、本人の自覚はもとより、いかに事故を防ぐかであります。会の目的でもある「埼玉県の森林を次世代に継承するためのボランティア活動」について、私は、少人数になっても少しずつでも継続していくことが、大切なのではないかと考えています。

副会長 岡田豊国

## 年頭所感・活動記録

### 「年頭所感」

会員の皆様そしてクラブの活動を理解し御援助いただいている皆様には、健やかで穏やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。まずは今年こそは新型コロナウイルスのような外的要因によりクラブの活動が中止されることが無いよう、計画されたとおり活動が実施できますようお願いしております。また、本年も安全な活動を第一の目標にして活動ができますよう心掛けて活動を進めてまいりたいと思います。さらに、楽しく活動できるよう理事や世話役の皆さんと協力して活動内容を充実させていきたいと思っております。そして安全で楽しい活動だけでなく、やりがいのある活動であることを会員の皆さんにもっと認識していただく必要があると考えております、異常気象が頻発する中で緑は地球そして人間のそのものの原点であり、緑を守ることの一部を私たちが担っていると感じていただけるよう努めて参りたいと思っております。

専務理事 小室正人

### 「新年明けましておめでとうございます」

昨年は「持続可能な山と人の営みの国際年」でした。コロナ渦やウクライナ問題、それらに起因する経済問題などが前面にあり、大きく注目されることもなく一年が過ぎた感じがあります。サポータークラブの活動もコロナ渦で制限されておりましたのでなおさらだと思います。さて、今年は「国際雑穀年」なそうです。雑穀は、米・小麦・大麦の主穀に比べて栄養価も高く今後の食糧としての期待もあるようです。かつて、アワは山間地域で生産される貴重な食糧であった歴史もあるようです。今一度食糧について考える機会にしたいと思っております。皆様の御健康と御活躍をお祈りしております。

事務局長 玉熊 英一

## 活動記録(2022年9月～11月)

月日	曜日	フィールド	内容	参加数
9月4日	日曜日	ときがわの森	間伐	9
9月4日	日曜日	カタクリの里	下草刈り	8
9月11日	日曜日	ときがわの森	間伐(研修)	8
9月11日	日曜日	越生ふれあいの里山	植栽地下草刈り準備	中止
9月17日	土曜日	宝登山の森	下草刈り	5
9月18日	日曜日	くるみ小屋	下草刈り	中止
9月18日	日曜日	高谷の森	下草刈り	中止
9月23日	金曜日	笠幡の森	下草刈り等	中止
9月24日	土曜日	鷹ノ巣の森	下草刈り	中止
9月25日	日曜日	高谷の森	下草刈り	7
9月25日	日曜日	緑の森博物館	下草刈り	中止
10月1日	土曜日	鴻巣・赤城屋敷林	下草刈り	12
10月2日	日曜日	ときがわの森	枝打ち実習	16
10月8日	土曜日	鷹ノ巣の森	下草刈り	4
10月9日	日曜日	越生ふれあいの里山	除伐・山林整備	16
10月15日	土曜日	笠幡の森	下草刈り等	7
10月16日	日曜日	くるみ小屋	森の収穫等	19
10月16日	日曜日	高谷の森	下草刈り	9
10月22日	土曜日	越生ふれあいの里山	オークネット森林づくり支援	13
10月23日	日曜日	緑の森博物館	下草刈り	8
10月29日	土曜日	黒山の森	除伐・間伐	6
10月30日	日曜日	桶川・加納屋敷林	間伐	17
11月5日	土曜日	滝の入の森	間伐	中止
11月6日	日曜日	ときがわの森	間伐	17
11月9日	水曜日	高谷の森	下草刈り	5
11月11日	金曜日	JAさいたま安行支店	リースづくり講習会講師派遣	2
11月12日	土曜日	鷹ノ巣の森	下草刈り	9
11月13日	日曜日	龍ヶ谷の森	通路草刈り	8
11月13日	日曜日	くるみ小屋	除伐	10
11月15日	火曜日	JAさいたま分館	リースづくり講習会講師派遣	2
11月19日	土曜日	笠幡の森	下草刈り・倒木整理	10
11月19日	土曜日	農林業ドリームフェスタ		中止
11月20日	日曜日	農林業ドリームフェスタ		中止
11月20日	日曜日	ときがわの森	間伐	中止
11月22日	火曜日	越生町立梅園小学校	間伐体験等の事前学習	1
11月23日	水曜日	黒山の森	除伐・間伐	中止
11月26日	土曜日	岩槻・浄国寺の森	林内整理	中止
11月27日	日曜日	緑の森博物館	下草刈り	7
11月30日	水曜日	越生町成瀬地区内町有林	梅園小間伐体験支援	9

## ■10月1日(土) 鴻巣市「赤城屋敷林」

今日から活動が再開されました。再開後の最初の活動です！

今夏は、雨も多く、猛暑の連続でした。活動はコロナ感染症対策で延期、中止や小規模開催等で各活動地の世話役さんは、苦勞の連続。ご苦勞様でした。さて、地元(鴻巣在住)での唯一の活動で、毎回勇んで参加させていただいております。前回の活動で、今後の活動を思い遣り、しっかり草刈りをしたが、今日の草は、雨や猛暑で、すごく元気で、覆い被さるように繁っていました。こりゃ大変だ！まして、今日は真夏日

の日差しで慣れない運動不足・水分摂取不足等で、大汗かきかき、大変苦勞しました。



〈No.368 星 直次郎 鴻巣市〉

## ■10月16日(土) 小川町「高谷の森」

草の伸びは早いもので、特に夏草の伸びは著しく、夏を経過した後の草刈りは大変であった。メンバーも当初11名であったが、3名の欠席者があり、草刈り能力が減少してしまった。当日参加が1名あったものの、今日予定していた斜面左半分の最初に植樹したエリアが終わらなかった。道路側から尾根に向かって草刈りをしていったが、所どころまた尾根付近が残ってしまった。また、モウソウチクが一部植栽地域に入ってきており、植樹した苗木を傷めないように、3人で計7本を除伐しなければならなかった。新人1名が参加していただいたので、斜面右半分上部の苗木の支柱の補修もやっていただいた。次回臨時作業を計画したいと思っている。

〈No.522 岡田豊国 東松山市〉



## ■10月29日(土) 越生町「黒山の森」



参加者 6名 (動力班3 手作業班3)

今回は黒山の世話役 藤井さんが都合により欠席となるので岡田豊副会長に事前の下見をお願いしました。10月15日に小峰さんの案内で岡田副会長と世話役2名で柚子園上部から大岩経由で山頂へ、下りは尾根道を通り駐車場の上部に出た。間伐候補のマーキングを行い整備状況を観た結果境界が沢より上部にある事が分かり間伐地が増えた。また除伐処理材と間伐材の置き方が不安定な場所や歩きにくい場所があったのでこれらを整理した後で間伐を行う事にした。当日は欠席者があり総勢6名の少数精鋭での作業となった。森林作業を満喫した。お昼には豚汁と天ぷらをごちそうになりお土産に柚子をいただいた。〈No.317 菅家征史 川越市〉

## ■10月30日(日) 桶川市「加納 屋敷林」

竹林整備で参加しました。屋敷林平坦地の作業で、他のフィールドでお馴染みの険しい道程を経ることなく作業現場に到達できます。「リボンでマークしてあるのだけでいいからね！」そうなんです。リボンの付いている竹だけで良いのですが、お育ちが良い



のでそれなりの太さと高さになられています。作業を進めると、徐々に辺りが明るくなってきます。途中から応援隊が合流してスピードアップ。時間内に目的達成できました。作業終了後周りを見回すと、下草刈りも終わって明るく風通しの良い状態になってました。改めて「キレイになったな」なんて勝手に自己満足に浸って、そのあとご飯。美味しいお昼をご用意いただいてウマウマ頂きました。胃袋をつかまれた訳ではないですが、また次も頑張ろー！と思いながら道具の後片付けをした次第です。

〈No.784 平井崇詞 狭山市〉



## ■11月12日（土）小川町「鷹ノ巣の森」

鷹ノ巣の森活動。暑い位の日。下枝切り、枯れ木・密集木の伐採が主活動。手作業の私は菅家さんや菅谷さんに付き色々教わりながら。鷹ノ巣の森は鬱蒼とした竹林を整備し、桜やクスギ、松などを植林し、10年経つという。枝は日が均等にその葉に注がれるのが理想、木(枝)の形としては整ったものもいい。しかし木々の大抵は個性的。同じ方向に伸びる平行枝は枝切をし、木全体の成長を支援する。枝切りはなるべく根本、幹に沿って。切断部分が早く修復される。優しい配慮。また枯れ枝も切る。葉が落ちている為叩いた音で判断。まるで触診。ベテランの皆さんは木の上方をゆったり眺める。とても温かいまなざしで。まるで子供たちを見守るように。  
 〈No.806 熊谷政樹 練馬区〉



## ■11月19日（土）川越市「笠幡の森」

11月19日（土）の作業は、通称桜地区（市道側）でアズマネザサを中心にした下草刈りでした。作業は、刈り払い機使用者8名、手作業2名での作業でした。この地区は、10月に続いての作業でしたのでアズマネザサ刈りの作業は完了しました。また、通学路にもなっていて、近隣の方々からきれいになりましたね、助かりますなどと感謝の声をかけられる場所です。道路側の林地もきれいになりました。憂慮すべきことですが、「笠幡の森」にも「なら枯病」が入ってきています。

〈No.160 小坂 博美 川越市〉



笠幡の森にもナラ枯れ病が発生しています



笠幡の森は住宅地に近いのでクラブの活動は地域の住民に感謝されています

## ■11月30日（水）越生町での活動

梅園小学校5年生 間伐体験支援

活動地：越生町成瀬地区町有林

参加者：児童 17名 サポーター 9名

当日スケジュール：

10時越生中学校駐車場集合

昼食を挟んで13時半頃まで準備作業

13時半過ぎに児童到着 開会式

14時から4班に分かれ作業

15時から閉会式

朝、雨が降り心配しましたがその後回復。前日雨の為順延したので活動が出来良かったです。

毎年の行事ながら今回は特に安全に作業出来るよう選木も直径10～15cmの細めにしてチルホールを使用し更に安全第一に作業しました。

〈No.630 鈴木久代 越生町〉



間伐体験



枝払い体験



玉切体験

## 越生ふれあいの里山活動（越生町）

■ 令和4年10月9日（日）オークネット支援の準備と「C地区」の間伐作業を行いました。支援準備作業班はオークネット間伐予定地周辺部の整備と灌木の伐木及び間伐木の選定を行い作業終了する。



■ 令和4年10月22日（日）「オークネット森づくり活動」間伐体験支援。

ボランティア小屋上部に選定した細めの間伐木は5班の作業では狭く危険を伴う状況の為間伐作業手順を変更して行った。各班一斉に受け口を作りを開始、間伐木の伐倒は1班ごと安全を確認後小室専務の指示に従い作業を進行する。作業後半は各班コースター制作を楽しむ。



■ 令和4年11月7日（日）「龍ヶ谷の森活動」

A地区B地区の通路草刈り作業を行う。1年越しの草刈りでしたが、日当たり地部分に繁茂しているのは大半がススキで植樹木は大きく伸長しており日陰部分の草木は少ない状態でした。手作業では故竹原さん記念植樹地の草刈り、鹿防護ネット修復整備作業で終了する。



（越生ふれあいの里山担当 No.718 片野健一 川越市）

## 緑の森活動（入間市 緑の森博物館）

■ 10月23日（日）下草刈り

10月からの活動再開にしたがい、雑木林広場周辺（クラブ20周年記念サクラの植樹地）の下草刈りから活動を再開した。4月に下草刈りを行った区域だが伸び放題の下草が背丈を超える所もあった。動力班は5名と少なかったが刈払い機が大活躍。手作業班3名は植樹した桜の周辺や散策路沿いのツボ刈り、落枝の片付け等を行った。



雑木林広場「あずまや」で休憩

■ 11月27日（日）下草刈り、落ち葉掃き準備

緑の森博物館の東側に隣接する八幡湿地の雑木林で、12月に予定している落ち葉掃きに備え、下草刈りと落枝の片付け等を行った。参加者は今回も少なく7名。動力班は刈払い機で下草刈り、手作業班は落枝を片付け、落ち葉掃きをしやすい林床となった。八幡湿地保存会のメンバー10名と協働作業で、保存会は隣接区域の下草刈りを進めた。

（緑の森博物館担当 No.768 武藤光盛 所沢市）

## ときがわの森活動（ときがわ町）

令和4年秋の活動

■ 10月2日（日）一本梯子で枝打ち実習

皆で伐り出した間伐材と森林組合に交渉して頂いた端材とで建てた物置きから一本梯子と安全帯を取出し、枝打ちの実習をしました。一本梯子での作業は初めての方がほとんどで、岡田豊国さんの作業説明の後、二人一組交替でお互い指摘し合いながら実習するつもりではいきました。が、段々慣れてくると「尻っぱり腰なんだヨオ〜！」とか「もうチョット上まで届くだろオ〜！」とか兎に角うるさくも楽しい半日になりました。それでも通常の間伐活動の際「(数年前にした)枝が出ベソになってたゾ。」との指摘も聞こえ、年1回枝打ち実習をすべきと思っています。（写真参照）



■ 11月6日、12月4日

両日とも1)手作業は1次間伐が終了したSⅢエリアの枝打ち、2)動力作業は初心者研修をしていたSⅠエリアの上部とその上のJVⅢエリアの間伐を継続すすめました。枝打ちは、実習を受けなかった方や新入会員には作業教育をして行っています。参加者は一様に「作業が面白い」との感想。嬉しい！1次間伐したエリアを再び作業して、私自身「キッチリ間伐できている場所は確実に下草が繁茂している！」ことに驚いています。逆に間伐が今一步な場所は枝の枯れあがり大きい(?) 気もします。間伐ガンバロウ！

令和5年冬の活動予定

- 1) 手作業: 進行中のSⅢエリアの枝打ち
- 2) 動力作業: 進行中のエリアの間伐を春頃には仕上げて、来秋は残る一とりわけ密になっている箇所ーJVⅢ付近の間伐に着手したし。

（ときがわの森担当 No.790 山根義之 朝霞市）



## 新入会員発言

昨年10月末にとしがわの間伐に体験参加し一年経ちました八鍬(ヤクワ)と申します。特殊車両メーカーで開発をしています。入会のきっかけですが、仕事で関係した伐採等について情報収集する中で『まずは体験してみよう!』と思い、ネット検索で森林サポーターにたどり着きました。初日の印象は『想像以上に本格的!』で、霜触会長直々のご指導のもと『人生初の伐倒!』何とも言えない感覚が忘れられず入会を決めました。伐採・木・山・道具・食?の知識や安全作業の勉強になる上、単純に楽しく、仕事は忘れ『山で元気に』させてもらっています。『山を元気に』にも少しでも貢献できるように参加させていただきますので宜しくお願いいたします。|

(No.822 八鍬政和 熊谷市)

## シリーズ 薪ストーブの魅力と暮らし



## 第40話『煙突』

薪ストーブの煙突にはシングル煙突(筒が一重)と、断熱二重煙突(筒が二重構造で間に断熱材が充填されている)があります。シングル煙突は安価で軽いので扱いやすい、表面が高温になる(昔はストーブ本体と同じように放熱されることで暖房効果が高まって良いと言われたりしましたが、その分煙突内部が冷えてしまい排煙の上昇気流が弱まって煤が付きやすい)といった特徴があります。断熱二重煙突はシングル煙突に比べると大変高価で重量もあるものですが、それ以上に優れた性能(断熱性があるので防火的に有効、煙突内の温度が高く保たれ上昇気流が高まり内部に煤が付きにくい、上昇気流が安定するのでストーブ本体の燃焼が良好でストーブ本来の暖房性能を発揮させられる)を持ち合わせています。煙突は脇役になりがちですが、ストーブ本体の性能が良ければ良いほど、煙突も性能の良い断熱二重煙突が求められます。(No.30 木島 浩 寄居町)

## シリーズ 森林の不思議

## 雑木林の昆虫-冬に昆虫採集・オサ掘り?-

昆虫採集は夏に行うというイメージが強いと思いますが、冬でもできるのです。その一つが朽木や崖などで越冬するオサムシ類(図1)を掘り起こす「オサ掘り」です。河川敷の木の枝などに吹き溜まった土砂の中でも越冬するオサムシ類もいます。冬には草木が枯れるため「オサ掘り」には好都合なのです(図2)。



図1 朽木で越冬する



図2 河川敷で「オサ掘り」

オサムシという和名の語源は体形が紡錘型で機織りに使う筈(おさ)に似ているからという説もあります。漢字で「歩行虫」と書きますが、地表を素早く動き回り生活する習慣にちなんだものようです。

埼玉県で一般的に見られるオサムシ科オサムシ亜科はアオオサムシ(図3a)、クロナガオサムシ(図3b)。ヒメマイマイカブリ(図3c)です。

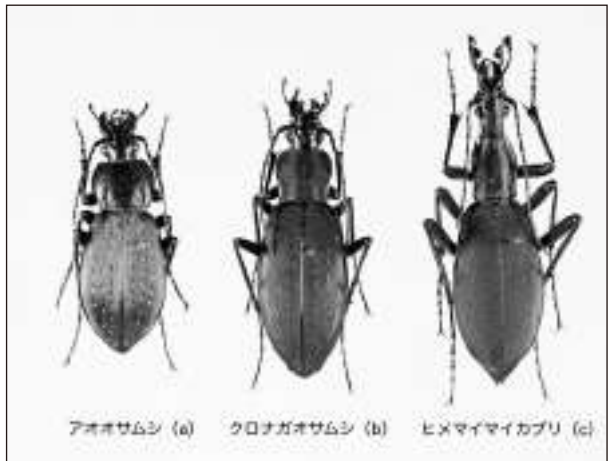


図3 埼玉県に生息するオサムシ類

オサムシの仲間の多くは後翅が退化しているので飛べません。特にマイマイカブリでは左右2枚の上翅が癒合しています。このため、川で隔てられた地域では同じオサムシでも色や大きさが大きく異なることがあります。異なる島や島内の異なる地域で特徴のある個体となります。そのためオサムシ好きは日本全土で採集に励む(?)こととなります。

このように飛べないオサムシ類は河川の氾濫や雑木林の喪失などで絶滅してしまう恐れがあります。冬の晴れた日にスコップと軍手を持って河川敷を探索してみてもいかがでしょうか?なお、標本写真は築比地秀夫氏からの提供です。

(No.722 利根川雅実 さいたま市)

◇ 新会員のご紹介

- 828 南 浩治さん(春日部市)
- 829 大慶 順一郎さん(久喜市)

◇初めて参加される方の研修について

1.手作業希望者

初参加の方は、ご自分のご都合に合った活動に参加いただき、世話役の方または作業に熟練した会員の方の指導を受けてください。

この研修の希望者は、2週間前までに事務局へ連絡してください。

※事務局では上記の初参加の方の申し込みを受けた際、担当世話役にこの情報を伝えますので、世話役は当日の機材の手配(間伐ノコギリや大鎌等)及び指導者の人選を必ず行なって下さい。

2.機械作業希望者

当会では、チェーンソーや刈払機を使う作業については、安全確保の観点から次の3つの条件を設けています。

- ①労働安全教育の修了証(表と裏面のコピー)を事務局に提出
- ②機械使用に対応する安全保険に加入(令和3年度は別途2,000円年)
- ③伐倒(チェーンソー)は「ときがわの森」での研修受講

草刈り(刈払機)は「高谷の森」での研修終了この研修の希望者は、3週間前までに事務局へ連絡してください。

◇令和4年度会費納入のお願い

会費納入をお忘れの方は、下記の郵便振込をお願いします。

- 口座番号 0120=2=407239
- 加入者名 NPO法人埼玉森林サポータークラブ
- 年会費 3千円

◇コロナ禍の活動について

コロナ感染が続いております。体調の悪い方、体温が37度以上の方の活動参加はご遠慮ください。お願い致します。

編集後記

年が明けて新年は卯年、兔の年になります。兔はよく跳ねるので、卯年は景気も跳ねて上向くと言われるとか。2023年は楽しく心が跳ね躍るような、明るい年になることを期待しましょう。サポータークラブの活動も一年を通して続けられるように、と願っています。

(No.695 樽石亜由美 東村山市)

「クラブ員の声」欄への投稿を200字程度でお願いします。

自然のたより(60)種・タネ・たね

秋の終わりから初冬にかけてだいたい植物は実を付けて種を残し、次の世代にバトンタッチします。冬の雑木林を歩きますと様々な木の実に出会います。ガマズミ、ウワミズザクラは赤い実で野鳥が大好きです。人も果実酒にして美味しく頂けます。ムラサキシキブはきれいな紫色、これも野鳥が食べます。食べた後は糞と一緒に種まきします。このようにして雑木林には様々な樹木が自然に増えていきます。なので、樹林を手入れする際、実のなる木は残しておく方が生物多様性保全になります。

木の実の種は丸いものが多いですが、つる性の植物には面白い形をしたものがあります。アオツヅラフジは写真1のようにアンモナイトの形です。カラスウリは写真2のように小槌のような形です。これらは子どもの自然観察の際、実をむいて取り出してあげると「まん丸じゃないんだ！」と驚きます。フウセンカズラは栽培植物ですが白黒の2色わけです。これに目や口をつけると写真3のようなオブジェになります。とびきり異様なのは写真4の「キバナツノゴマ」でしょうか。これは種を納めるサヤにあたりますが、一度見ると忘れられません。栽培植物なのであまり見ることはないでしょう。



①アオツヅラフジのタネ  
大きさ5mmほど



②カラスウリのタネ  
大きさ5mmほど



③フウセンカズラのタネ  
大きさ5mm



④キバナツノゴマ 軸10cm

※①②はインターネットより

〈No.647 賀登 環 川越市〉

活動スケジュール (2023年1月・2月・3月・4月)

月日	曜日	フィールド	活動内容	集合場所
1月3日	火	くるみ小屋	安全祈願	神川町上阿久原 くるみ小屋
1月4日	水	緑の森博物館	安全祈願	所沢市糎谷78 八幡神社
1月8日	日	越生ふれあい里山	安全祈願・林内パトロール	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
1月14日	土	笠幡の森	下草刈り及び倒木整理	川越市笠幡1953 林内道路脇
1月15日	日	くるみ小屋	グリーンウッドワーク教室	神川町上阿久原 くるみ小屋
1月17日	火	世界無名戦士の墓公園	梅園小植樹支援	世界無名戦士の墓公園
1月18日	水	世界無名戦士の墓公園(予備日)	梅園小植樹支援(予備日)	世界無名戦士の墓公園
1月21日	土	江戸屋弘東園	落ち葉掃き	三芳町上富1388-3 江戸屋弘東園の前 駐車場
1月22日	日	緑の森博物館	間伐・除伐	所沢市糎谷78 八幡神社
1月28日	土	江戸屋弘東園(予備日)	落ち葉掃き(予備日)	三芳町上富1388-3 江戸屋弘東園の前 駐車場
2月12日	日	越生ふれあい里山	間伐・除伐	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
2月19日	日	くるみ小屋	間伐(広葉樹)	神川町上阿久原 くるみ小屋
2月26日	日	緑の森博物館	間伐・除伐	所沢市糎谷78 八幡神社
3月5日	日	ときがわの森	間伐・枝打ち	ときがわ町西平 越瀬橋 手前 左側
3月12日	日	ときがわの森	間伐	ときがわ町西平 越瀬橋 手前 左側
3月19日	日	くるみ小屋	間伐(広葉樹)・栗植栽	神川町上阿久原 くるみ小屋
3月19日	日	越生ふれあい里山	間伐・除伐	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
3月21日	火	笠幡の森	下草刈り・倒木処理	川越市笠幡1953 林内道路脇
3月26日	日	緑の森博物館	除伐・間伐	所沢市糎谷78 八幡神社
4月1日	土	黒山の森	間伐	越生町黒山771 現地
4月2日	日	ときがわの森	間伐	ときがわ町西平 越瀬橋 手前 左側
4月9日	日	ときがわの森	間伐	ときがわ町西平 越瀬橋 手前 左側
4月15日	土	笠幡の森	下草刈り	川越市笠幡1953 林内道路脇
4月16日	日	越生ふれあい里山	間伐	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
4月16日	日	くるみ小屋	除伐	神川町上阿久原 くるみ小屋
4月23日	日	緑の森博物館	下草刈り	入間市宮寺889-1 緑の森博物館

※活動予定は、中止や変更することがあります。その節は一斉メールにてお知らせいたします。締め切り後に参加する時や、申込んだが当日欠席する時は事務局まで連絡を！直前の当日欠席は世話役まで連絡を！

※集合時間は8時30分です。支度をして集合して下さい。

拠点フィールドのご案内

■ときがわの森 (ときがわ町)

毎月第1日曜日活動 (担当: 山根義之・岡田豊国)

■緑の森博物館 (入間市)

毎月第4日曜日活動 (担当: 伊東喜尋・武藤光盛)

■越生ふれあいの里山 (越生町)

毎月第2日曜日活動 (担当: 片野健一・鈴木久代・樽石亜由美・菊池修一郎)

埼玉森林サポータークラブ・コミュニケーション・ニュース 2023年1月1日発行 (年4回発行)

■発行: 特定非営利活動法人 (NPO法人)  
埼玉森林サポータークラブ

■発行責任者: 霜触 賢 ■編集リーダー: 沢田 正

■編集スタッフ: 木島 浩・北村 博・梶田 力・小室 正人・利根川雅実・香取由美・星 直次郎・樽石亜由美・菅家征史・小坂博美・伊東喜尋・片野健一・菅谷 榮・岡田豊国・平井崇詞・藤井俊文

■事務局: 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-12-9  
農林会館B1 〒330-0063

TEL. 048-814-2770

<事務局開設日: 月・水・金> 10時~15時

■事務局メールアドレス

info@shinrin-supporter.org

■ホームページアドレス

http://www.shinrin-supporter.org/